

令和7年度 日限山地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

当地域ケアプラザの担当地区は、ひざり地区(日限山1～4丁目)と丸山台地区の一部(丸山台4丁目)で、令和7年3月末現在、人口は合わせて約9,687人(ひざり地区約8,617人、丸山台4丁目1,070人)です。高齢化が進展し高齢化率はひざり地区は32.2%、丸山台4丁目は35.6%となっています。今後さらに高齢化が進展し、特に後期高齢者の割合が増加することが予想されます。地域の各種団体、行政や社協等の関係機関と連携し、子ども・高齢者・障がい児者など様々な方を対象とした事業を実施すると共に、地域で行われている見守り・支え合い活動が更に活発に行われていくよう支援してまいります。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ひざり地区では健康づくり部会などの5部会を設置し、第4期地域福祉保健計画を推進しています。ケアプラザ職員は引き続き5部会の事務局を担い、区役所・区社会福祉協議会と連携の上、活動を支援します。また、第5期計画の策定委員会にも参加し、必要に応じたサポートを行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度から活動を開始した「新世代創造ミーティング」という高校生・大学生による企画会議にて、学生ボランティアが活躍できるイベントを検討し実施します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動交流と地域包括支援センターが共催で立ち上げた男性料理グループが活発に活動を継続できるよう支援を行うとともに、まだ地域活動に参加していない男性の掘り起こしを行います。具体的には、地域の他のグループとの交流会開催および食事の提供への協力依頼や、ステップアップ講座として「だし講座」を行います。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者が孤立せず、自身の趣味や性格に合った場で交流できるよう、「シニアリトミック」や「大人のぬり絵」など新たな切り口での講座を実施します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年開催している介護予防講座は、身近で参加しやすいよう、コロナ禍以降、久々に自治会館に向向いて開催します。講座は地域と協力しながら、幅広く参加いただけるよう工夫します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

ひざり地区の地区別計画推進においては5部会の事務局を担い活動を支援、各部会活発に活動することができた。オンラインで行われた第5期計画策定委員会にもオブザーバー参加、策定の経過を見守り、第5期計画実施に向けた検討にも事務局として加わった。昨年度から活動を始めた「新世代創造ミーティング」は打合せを重ね、今年はケアプラザtheフェスティバルにて子ども向けのクリスマス工作ブースを企画・運営した。メンバーが「学び舎ひまわり」に参加するなど、活動の幅が広がってきている。昨年立ち上がった男性料理グループは、他グループ交流会への食事提供や「だし講座」への参加をケアプラザ側から働きかけることで、活発な活動継続を支援した。「シニアリトミック」は新たな切り口で高齢者の孤立予防、閉じこもり予防にアプローチ。介護予防講座はケアプラザから遠い方も気軽に参加していただけるよう、久々に自治会館に向向いて開催。地域からは「出向いての開催、ありがたい」との声をいただいた。

区からのコメント

日頃から積極的に地域へ出向いて地域の方々と関わりながら、この地域に必要なことは何かを常に考え、人や団体、様々な社会資源をつなぐ役割を担っていただきました。また、今年度は第5期港南ひまわりプラン(地区別計画)の策定において、地域の皆さんとともにご尽力いただき、ありがとうございました。
音楽に合わせて身体を動かし、健康寿命の延伸や介護予防、認知症予防を目的とした高齢者向けプログラムである「シニアリトミック」を導入し、高齢者の孤立防止・閉じこもり予防への新たなアプローチを行った点は非常に評価できます。身体的だけでなく、精神的な活性化やコミュニケーション促進につながる取り組みであり、地域の高齢者にとって肯定的な影響が期待される活動だと感じます。
また自治会館に向向いて講座を開催し、ケアプラザから距離のある住民にも参加しやすい環境を整えた点は、地域包括としての姿勢が非常によく表れています。地域住民から「出向いての開催、ありがたい」との声が届いたことは、地域のニーズを的確に捉え、丁寧に応じた結果だと感じます。地域に寄り添う支援の在り方として、大変意義深い取組だと思えます。地域の多様な層に働きかける活動が増えたことで、住民のつながりや参加意欲が高まったと感じています。来年度も、今回の取り組みを土台に、より住民に寄り添った魅力ある活動が展開されることを期待しています。